

城跡歴史公園



概要

源頼朝の挙兵に参戦して功あった小山一族の朝光が寿永2年(1183)頃築城、結城合戦ののち、十三代成朝が旧領を回復し、戦国時代、十六代政勝によって有名な分国法「結城家新法度」が完成された。十八代秀康の越前転封後は幕府直轄となり、元禄13年(1700)水野勝長が入封、戊辰戦争では官軍に攻略されて破壊した。

現在は、空堀、土塁の一部が残存し、付近は城跡公園となっている。公園全体に桜が植えられており、毎年春にはさくら祭りが開催され、小川を渡る三日月橋周辺が桜のトンネルとなる。(ソメイヨシノ100本)

場所

茨城県結城市結城2486-1

アクセス

結城駅北口から徒歩で30分
 東北自動車道「佐野藤岡」ICより
 国道50号線経由で約50分



取り組み

ゆうきフィルムコミッション
 市内の自然風景や公共施設等をロケ地として紹介、映像制作者の誘致に取り組む。城跡歴史公園はそのロケーションの一つとして紹介される。(商工観光課 観光係)

自然拠点

文化拠点

景観	生物	地物・現象	公園	史跡	行事	産業・伝統	食	交流・学習
----	----	-------	----	----	----	-------	---	-------